

第2回尾張旭市総合計画審議会 会議録

1 開催日時

平成25年8月9日（金）

開会 午後2時

閉会 午後4時10分

2 開催場所

尾張旭市役所3階 講堂2

3 出席者

伊藤 雅一、加藤 義人、後藤 澄江、若杉 致由、若杉 恵、大塚 俊幸、
細田 智恵子、服部 正勝、塚本 博之、松原 しず、西尾 末子、西塚 浩美、
志村 美栄子、高志 守彦、中山 正秋

4 欠席者

なし

5 傍聴者数

1名

6 出席した事務局職員

企画部長 川原 芳久、企画課長 石坂 清二、企画課長補佐 山本 和男、
企画課主査 久野 善之、企画課主査 中川 暢頭

7 議題等

- (1) 会議録について
- (2) 各部会の内容について
- (3) 基本構想（案）に関する市民意見について
- (4) 基本構想（案）について

8 議題等

企画部長	<p>本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から、尾張旭市総合計画審議会の第2回全体会を開催させていただきます。</p> <p>開催に先立ちまして、7月3日の第1回審議회를欠席してみえました、大塚委員に、本日ご出席をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。学識経験を有するかたとして委員を務めていただきます、中部大学人文学部准教授の大塚俊幸委員です。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、伊藤会長、よろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>本日は、第2回目の全体会を召集いたしましたところ、皆さまご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議につきましては、お手元に配布いたしております次第に従って進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>

	<p>それでは、議事に入ります。</p>
伊藤会長	<p>まず、次第2の(1)会議録について審議します。この件について、事務局から説明をしてください。</p>
企画課長補佐	<p>第1回全体会の会議録については、8月2日までに開催した各部会において資料11として委員にお配りし、内容の確認をお願いしました。</p> <p>まとめ方については、尾張旭市で行う他の会議と同様に、発言の要旨をまとめさせていただいております。</p> <p>本日、次の2点についてご審議いただきたいと思います。1点目は、記載内容に間違いは無いかという点、2点目は、会議録の公開についてです。</p> <p>会議録の公開について、尾張旭市の他の会議につきましても、原則公開ということで現在会議録を公開しております。この審議会の会議録につきましても、同様の取扱いとして公開させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
伊藤会長	<p>それでは、会議録について、順番に審議してまいります。</p> <p>まず、記述内容に間違いが無いか、ご意見をいただきたいと思っております。記述内容に間違いなどがありましたら、ご発言をお願いします。</p>
	<p>(意見なし)</p>
伊藤会長	<p>特に意見がございませんので、記述内容に間違いが無いという取扱いとさせていただきます。</p>
伊藤会長	<p>次に、会議録の公開などの取扱いについて、審議していただきたいと思っております。</p> <p>会議録の取扱いについては、各部会で会議録を配布された際に、基本的に公開していきたいと事務局から説明があったと思っております。会議録の取扱いについて、事務局から補足の説明があればお願いします。</p>
企画課長補佐	<p>会議録については、市ホームページと市役所1階の市政資料コーナーでの公開を予定しております。</p> <p>公開の時期としましては、全体会の会議録につきましては、次の全体会で会議録の内容をお認めいただいてから公開、部会の会議録につきましては、各部会にて内容をご確認いただきますが、開催間隔が短いため、公開は部会の開催ごとではなく、部会のまとめが出来てから一括で公開することを予定しております。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。事務局より、会議録の公開などの取扱いについて補足説明をしていただきました。</p> <p>ご意見はございませんでしょうか。</p>
中山委員	<p>公開されるのは、概要部分のみとなるのでしょうか。</p>
企画課長補佐	<p>各部会にて配布しました、資料11の形で公開します。</p>
中山委員	<p>部会の会議録も同様に事務局から提出されるものですか。</p>
企画課長補佐	<p>各部会の会議録についても、全体会と同様に作成し、皆さまに確認していた</p>

	<p>だく予定としております。</p>
大塚委員	<p>会議録はいつまで公開されるのでしょうか。</p>
企画課長補佐	<p>とくに決まってはいませんが、通常の例ですと3年分程度を公開することが多いので、この会議につきましても概ね3年を目途に公開していきたいと考えております。</p>
伊藤会長	<p>会議録の公開については、事務局の説明のとおり進めていきます。</p>
伊藤会長	<p>次に、次第2の(2)各部会の内容について審議します。</p> <p>各部会の内容については、部会ごとに進め方に大きな違いはないか確認することと、各委員が所属する部会以外の内容も承知しておくべきということから内容を確認するものです。</p> <p>それでは、第1回の各部会の内容について、事務局から説明をお願いします。</p>
企画課長補佐	<p>各部会の内容について、説明いたします。</p> <p>資料13は、各部会で出ました主な意見をまとめたものです。なお、内容につきましては、あらかじめ部会長に確認していただいております。</p> <p>部会の進行につきましては、各部会ともまず基本構想を審議し、政策については、それぞれ1施策ずつ審議が行われました。</p> <p>(資料13の説明)</p> <p>なお、他の部会に関係する意見として、第3部会(安全安心・産業振興・行財政運営)において、施策4-4「防犯対策の推進」の中で、「犯罪抑止効果があるとされる防犯パトロールなどは、自治会活動の一環であり、また地域のつながりが犯罪抑制に効果があると考えられるので、多くの市民に自治会に加入していただく仕組みが必要である。」との意見が出され、第2部会での審議の際には、当部会の意見を参考意見として欲しいとされましたので、ここで紹介させていただきます。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、事務局から各部会の内容について説明をしていただきました。各部会とも、同じように進行され、活発な意見が出されたことが分かりました。後藤部会長、加藤部会長、今後ともよろしくお願いします。</p> <p>この件は、この程度としたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>次に、(3)基本構想(案)に関する市民意見について審議します。</p> <p>前回の会議において、審議会と並行してパブリックコメントを実施しているとの説明がありました。そのパブリックコメントで出された市民意見について事務局から説明をお願いいたします。</p>
企画課長補佐	<p>(資料14説明)</p> <p>ただいま説明しました市民意見の取扱いについては、尾張旭市パブリックコメント手続に関する要綱に基づき、他の計画のパブリックコメントと同様の流れで事務を進めます。</p> <p>具体的には、提出された意見を考慮しまして、総合計画の基本構想の最終案</p>

	<p>を決定したいと考えております。最終案の決定後に、提出された意見の概要と、その意見に対する市の考え方を市ホームページなどで公表します。</p> <p>今回、委員の皆さまにこの資料を提供させていただいたのは、参考意見として、紹介させていただくものです。また、市の回答の大まかな内容についても、後日紹介する予定としています。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、今後の審議の参考にしていただきたいと思います。審議会としては、市民の意見を参考にしながら、検討を進めていきたいと考えています。</p>
伊藤会長	<p>次に、(4)基本構想(案)について審議します。</p> <p>第1回全体会では、基本構想(案)のうち、主に、将来の都市像についてご意見をいただきました。また、その際に、第2回全体会で、基本構想(案)について引き続き審議を行う旨を案内しております。</p> <p>今回の進め方について、事務局から案があれば説明をお願いします。</p>
企画課長補佐	<p>今回の進め方について、事務局の案をご説明いたします。資料5をご用意ください。</p> <p>1ページから26ページまでが全体に関わる部分であり、全体会で審議していただきたいと考えています。27ページ以降は、施策別計画ということで各論となりますので、各部会において審議を進めます。</p> <p>まずは、各部会で出された意見を踏まえて、10ページからの基本構想についてご審議をいただきたいと考えています。その後、第3部の「基本構想実現に向けて」として、26ページまでを議論していただきまして、最後に1ページから9ページまでの第1部の「はじめに」についてご意見があればいただきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見については、箇条書きでまとめまして、次回の第3回全体会で市の回答をお示ししたいと考えています。</p> <p>なお、10ページから17ページの基本構想に関する部分については、本日一定の方向性をお示しいただきたいと考えております。ただし、13ページから16ページについては、第3回の部会で審議する時間を取りたいと思いますので、本日の審議からは外していただければと思います。</p>
伊藤会長	<p>事務局の案のとおり、3つのパートに分けて審議を進めたいと思いますが、ご意見等はございますか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
伊藤会長	<p>それでは、10ページから17ページの基本構想に関する部分について審議を進めます。審議の方法につきましては、まずは部会で多くの意見が出された将来の都市像に関する部分についてご審議いただき、12ページから17ページについては、一括で審議したいと思います。</p> <p>なお、審議部分について、事務局から補足説明があればお願いします。</p>

企画課長補佐	<p>基本構想の案につきましては、前回の全体会において説明させていただきましたが、各部会において、各委員の皆さまから将来の都市像についてたくさんのご意見をいただいたところです。</p> <p>いただいたご意見を踏まえて考えますと、事務局からの説明が不足していた点がございましたので、資料15を用いまして説明をいたします。</p> <p>(資料15説明)</p>
伊藤会長	<p>将来の都市像は、まちづくりの理念や考え方を表すものであり、第2部会でも、「都市像=キャッチフレーズ」なのかという議論がありました。</p> <p>他の自治体の例を見ますと、同じとしている自治体もあれば、分けて使っている自治体もあります。ただいま説明いただきました資料15では、尾張旭市が都市像とキャッチフレーズを分けて使っているということが分かります。</p>
伊藤会長	<p>それでは、将来の都市像について、審議をお願いいたします。</p>
高志委員	<p>「健康都市 尾張旭」は、今までキャッチフレーズとして使われてきたとの説明がありました。では、尾張旭市をこういう風にしたいという昔からの理念は何だったのでしょうか。</p> <p>私は、昔から「健康都市」が理念として使われていたと考えていましたが、どのようになっているのでしょうか。</p>
企画課長補佐	<p>第四次総合計画では、将来の都市像である「ともにつくる元気あふれる公園都市」が理念であると考えています。</p>
高志委員	<p>私は、理念というのは、簡単に変えてはいけないものであり、変えるためには、重大な決断が必要なものだと思います。</p> <p>私は、尾張旭市の理念がずっと「健康都市」であると考えており、サブタイトルとして将来の都市像を加えれば良いのではないのでしょうか。</p>
伊藤会長	<p>理念を変えることの是非についての意見が出されましたが、各部会での発言を見ておきますと、これまでの将来の都市像を総合的に反映させたものが今回の将来の都市像の案であり、理念ということができるようになります。</p>
企画部長	<p>第四次総合計画までは、右肩上がりのまちづくりを進めてきましたが、今回の第五次総合計画は、初めての人口減少が発生したり、高齢化率が21%を超えて超高齢社会に突入したりするなど、大きな環境変化がある中で、中堅・若手のワーキンググループでの議論も踏まえて、将来の都市像の案を策定したものとします。</p> <p>大きな環境変化があるということを踏まえて、将来の都市像も変えるものがございます。理念を変えることに対する判断は非常に難しいものですが、市の内部での議論を踏まえ、変えることにしたものです。</p>
伊藤会長	<p>将来の都市像の変遷を見ていきますと、第三次総合計画と第四次総合計画には健康都市というフレーズが都市像に含まれておりませんが、キャッチフレーズとして市は前面に出しています。</p> <p>資料5の17ページに記載されております「まちづくりの進め方」の中に、</p>

	<p>「健康都市の取り組みを進めます」と記載がされておりますが、今回、将来の都市像を変えることによって、健康都市の取り組みの方向性が大きく変わることをご想定しているのですか。</p>
企画課長	<p>健康都市につきましては、平成16年度に健康都市宣言をされており、宣言に基づく方向性を変えることはありません。また、健康都市の考え方を取り入れて、今後もまちづくりを進めていきます。</p> <p>健康都市の考え方を念頭に置きつつも、将来の都市像は、これから10年間の計画の都市像ですので、未来永劫続く理念が入らなければならないというものではありませんので、大きな環境変化を踏まえて、拡大のイメージがある「○○都市」から言葉の持つ柔らかさなどから「まち」というように、変更を行うものです。</p>
加藤委員	<p>尾張旭市の魅力である「健康都市」は変えないということが確認できました。最近、市が抱える問題も複雑化しており、良いまちづくりを進めようと思った時に、簡単な問題解決の積み重ねでは立ち行かなくなってきたことから、将来の都市像とキャッチフレーズを同一のままとすることは難しくなってきたのだと思います。</p> <p>将来の都市像の案が、大切にしていきたいと考えている4つの要素で構成されていることと、人口増加の目標を掲げることで、近隣から人を呼び込む、攻めの意思が込められた案であると考えています。</p> <p>何を売りにしてまちづくりを進めていきたいのかが将来の都市像に含まれており、健康都市の取り組みも継続していくということであれば、キャッチフレーズを別に考えることも踏まえた上で、十分理解ができるものであると考えました。</p>
塚本委員	<p>私はこれまで、将来の都市像はキャッチフレーズであると理解していましたし、少なからず市民もそのように考えていたと思います。</p> <p>事務局の説明において、理念とキャッチフレーズは別であるということですが、11ページに、将来の都市像の「みんなで支えあう」「緑あふれる」「元気あふれる」「住みよいまち」の説明が記載されており、理念として市民も理解ができるものと思います。</p> <p>また、都市像とは別に、将来的に決めるキャッチフレーズには、健康都市という尾張旭市のブランドをぜひ生かしていただきたいと思います。</p> <p>先ほど出された意見の中で、人口を増やす攻めの都市像という発言がありましたが、名古屋市東部の丘陵地帯は、春日井市、尾張旭市、長久手市、日進市、東郷町、みよし市、豊明市が競い合っていて、まちの魅力を高めていますので、その中で、尾張旭市には個性のあるまちづくりを進めていただきたいと考えています。</p> <p>本市の個性が何かと言われれば難しいのですが、例えば、安全安心なまちなど、みんなで議論しながら進めることが必要と考えています。</p>

伊藤会長	<p>まちの個性を出すということは、人々が居住地を選択する中で、非常に重要な要素となってきます。その中で、尾張旭市が掲げる健康都市は、全国の中でもブランドとも言える、国際的にも通用するフレーズであると思います。</p>
大塚委員	<p>理念は変えないほうが良いという考え方には賛成できます。</p> <p>「健康都市」は、尾張旭市総合計画と第二次総合計画の都市像であり、平成16年度の健康都市宣言によって、ある意味で永遠という位置付けになったのではないかと思います。資料14のパブリックコメントの意見を見ても、市民の健康都市に対する思いは大変強いものがあると感じました。</p> <p>事務局の説明では、環境変化があったため都市像を変更したという話でしたが、第一次から第四次までの集大成と呼べるものであり、大きく方向性を変えるものではないと思います。</p> <p>第五次総合計画の将来の都市像は、集大成と呼べる都市像であり、さらにまちの魅力を高めることで、結果として人口増加が図られるということが表れている都市像であるという意味で、良い都市像であると思います。</p>
若杉（恵）委員	<p>第一次から第四次までの「住」を基本として、「健康」と「環境」というこれまでの理念を踏まえ、「支えあう」という東日本大震災以降に地域が求めている考えも含まれており、網羅されていると感じました。</p> <p>所属している以外の部会においても、将来の都市像は原案が良いのではないかという意見が多く出されており、私も原案が良いと思います。</p>
若杉（致）委員	<p>健康都市という文言は、第一次と第二次総合計画には含まれていますが、第三次と第四次総合計画は表現されていません。</p> <p>ただし、その考え方は継続しているものであり、その考え方からすると、どうしても文言を入れなければならないというものではありませんので、原案から変更する必要はないと考えています。</p>
後藤委員	<p>私が部会長を務めています第1部会は、福祉や健康、教育を担当しており、これからは多くの市民が参加しながら、支えあうということが重要であることから、「みんなで支えあう」という言葉が都市像に含まれていることは良いと考えています。また、緑や健康についても触れられており、理解ができるものです。</p>
伊藤会長	<p>これまでにいただいた意見を踏まえて整理しますと、健康都市の考え方は今後も重視して欲しいということと、将来の都市像が、まちづくりの理念として、これまでの計画の集大成かつ今日的な表現になっていることが言えると思います。</p> <p>本日の議論を踏まえて、事務局で整理を行った上で、まとめとしたいと考えております。</p>
伊藤会長	<p>13ページから16ページの政策の大綱は、部会で議論を行いますので、12ページと17ページについて、ご意見をお願いします。</p>
企画課長補佐	<p>審議に入る前に、資料16を説明いたします。</p>

	<p>この資料は、以前配布した資料12で流入流出人口をお示しましたが、その後、部会の委員から転入転出の状況が分かる資料の依頼がありましたので、転入転出者の3年間の状況をまとめた資料として配布するものです。</p>
中山委員	<p>計画人口について、第四次総合計画の計画人口が平成25年度時点で88,000人となっていますが、実際は82,000人程度であり、6,000人程度の乖離が生じています。見込みが甘かった部分があるかと思いますが、その原因は分析されていますか。</p>
企画課長	<p>当時の計画の作り方は右肩上がりの計画であり、本市に限らずほとんどの市町村で多少高めに人口を見込んだということと、子どもの出生率を高めに見込んだことが乖離の生じた理由と考えております。</p>
中山委員	<p>都市基盤の整備を進めてきており、本来であればそこに住民が住みつくことが考えられますが、効果が出ていないということでしょうか。</p>
企画課長	<p>今まで本市が人口を伸ばしてきた大きな要因は、名鉄瀬戸線が名古屋市から本市に通っていることだと思います。</p> <p>また、土地区画整理事業をこれまで市の郊外部で進めてきましたが、今は瀬戸線沿線で基盤整備を進めています。土地区画整理事業を実施したことで、すぐに多くの方が市外から転入してくるというのではなく、地価が高くなった時期もあり、計画的に転入者が増えてはいません。</p>
若杉（致）委員	<p>前回までの計画は、ハード面の整備のため、少し高めの人口を設定し、都市基盤整備を進めてきたという背景もありました。</p> <p>また、土地区画整理事業を実施して住宅は増えましたが、世帯分離や市内転居などが想定したよりも多く、想定したほど人口が伸びていない状況です。</p> <p>今回の計画人口の84,000人を達成するために、子育て世代の社会減を食い止めると記載されていますが、尾張東部地区の自治体がそれぞれ魅力を高めており、日本の総人口が減っていく中では、計画の中の各施策をインパクトのあるものとしなければならないと思います。</p> <p>部会において各施策の検討を進めていますが、県内・全国から人を呼び込むインパクトのある事業が、計画から読み取れないように感じています。</p>
塚本委員	<p>土地利用構想において、将来の土地利用を5つの区分に分けてられています。工業については区分したほうが良いと思いますが、その他4つの区分は一緒でもいいのではないかと感じています。</p> <p>例えば、将来的に農地や商店を住宅地の中に作って、組み込んでいくことを考えてもいいのではないかと考えています。高齢化が進んでくると、外出が難しくなると考えられることから、身近な地域で自然が感じられる、買い物ができるというようなランドデザインがあってもいいのではないかと感じています。</p>
企画課長	<p>土地利用構想を定める目的は、調和のとれた秩序あるまちづくりを進めるために、記載のある5つに区分したものです。</p> <p>より具体的なプランである都市計画マスタープランでは、土地利用構想より</p>

	<p>細かく区分されています。なお、都市計画マスタープランにおいても調和のとれた秩序あるまちづくりのために区分を行っているものであり、5つの区分を見直すことは考えていません。</p>
企画部長	<p>総合計画ですので、大きな道筋をつけていくものと考えております。</p> <p>高齢化の進展により移動が困難になるので、緑を感じられる場所や商店、医療機関を住居地域の近くに配置するとのことですが、例えば買い物支援の取り組みなどは、個々の施策の中で記載し、実施していくものとなります。</p>
塚本委員	<p>尾張旭市は市域が狭いので、細かく区分する必要はないと考えて発言しました。市域が狭い中でも、施設などを中心部に集約化するのではなく、拠点ごとの配置を考えてもいいのではないかと思います。</p>
大塚委員	<p>今までは、都市計画によって合理的な土地利用が進められてきましたが、その弊害として画一的で魅力の少ないまちができてきたという反省もあります。</p> <p>これからは、秩序あるモザイクのまちという考え方もあるのではないかと感じました。</p>
	<p>午後3時27分休憩 午後3時35分再開</p>
大塚委員	<p>計画人口は、現状の人口から考えると厳しいと感じています。先ほどの説明の中で、名鉄瀬戸線が人口増加に寄与したとありましたが、これからの10年間を考えると新たに地下鉄の路線が開発された名古屋市南東部への人口集中が進むと思います。このことを踏まえたと、相当のことをやっついていかないと、人口は増えないと思います。</p> <p>12ページの第3章計画人口に「主に子育て世代の流入を図り社会増減を増加に転じさせることなどで、定住者の増加を図ります。」と記載されていますが、目的と手段の関係が逆のように思います。例えば、「主に子育て世代の流入により、定住者の増加を図り、社会動態を増加に転じます。」という表現のほうが良いのではないかと思います。</p>
企画課長	<p>記載の修正について、ご意見を基に検討させていただきます。</p>
加藤委員	<p>12ページに記載されている土地利用構想は、標準的なことが書かれているものです。人口推計結果が減っていく中で、相当の覚悟を持ってやらなければと思います。</p> <p>人口を増やしたいという思いを踏まえて、住居系を増やすのか、増やさないのかということが書かれていません。方法としては、住居系を増やすことや土地の高度利用などの対策も考えられます。こういった基本となる考え方を、具体的に記載してはどうでしょうか。</p> <p>ここに書かれた土地利用構想を見た第一印象としては、何も記載されていないに等しいと感じました。</p>
企画課長	<p>住居系を増やすか増やさないかについては、計画期間の10年間で約2,000人を増やすのであれば、農地を住宅地に転用するというようなことではな</p>

	<p>く、駅周辺の施設・広場の整備やバリアフリー化を進め、駅周辺の利便性を高めることやソフト事業の充実によって市の魅力を高めることで、外から人を呼び込み、中から出ていく人を減らしたいと考えています。</p> <p>なお、こういった所で人口を増やすかについての記載については、一度検討させていただきます。</p>
加藤委員	<p>そのメッセージをどこで記載するかが重要であり、記載された土地利用構想からは、土地利用の純化を進めたいという意思が感じ取れます。</p> <p>法律や県の指導は、土地利用の純化を進める方向かと思えますので、都市基盤整備の部門では方向性を変えることは難しいかと思えますが、住宅地を増やすことなく、市の魅力を高めることで人を呼び込むという思想を土地利用構想の中に記述することはできると思えます。</p>
若杉（致）委員	<p>人口を増やそうとする意図が、計画の各論の中に見出せないということが気になると思います。例えば子育て支援の取り組みを進めると記載されていますが、各論部分で、積極的に事業を進めていこうという意思が伝わる部分が無いように感じます。</p>
企画課長	<p>部会の議論においても、市が実施する事業が見えてこないという意見をいただきましたが、現在の総合計画書には、具体的な事業が書かれていません。</p> <p>個々の施策のページを見ていただきますと、施策のめざす姿を数値で表す成果指標が記載されております。</p>
若杉（致）委員	<p>総合計画書への記載については理解できますが、抽象的な表現では伝わらないと思えますので、具体的な表現が必要だと思います。文章表現の工夫でも良いのではないのでしょうか。</p>
高志委員	<p>重点的に進める取り組みが書かれていないことが気になります。</p>
企画課長	<p>全ての施策について、記載をしていくことは難しいと思えますが、人口を増やしていく攻めの姿勢をどの分野で実践していくのかという意思を、何らかの形で記載することを検討します。</p> <p>第3部「基本構想の実現に向けて」の中などで記載することを考えます。</p>
伊藤会長	<p>尾張旭市を中心とした広域で見ると人口は減っていきます。その中で、子育て世代の奪い合いが起こるのではないかと思います。</p> <p>これまでは、名古屋市が人口が増えれば、尾張旭市を含むその周辺も増えるという構図でしたが、今後はどのようにして増やしていくかを整理して記載してはどうかと思えます。</p>
大塚委員	<p>12ページの土地利用構想の中で具体的な記載が難しいということであれば、例えば、25～26ページの土地利用の部分で、各委員から意見を踏まえて記載を見直してはどうでしょうか。</p>
志村委員	<p>12ページに「主に子育て世代の流入を図る」という文言があるので、このことを踏まえて計画されている事業があるのでしょうか。</p>
企画課長	<p>子育て世代に対する支援については、待機児童が3歳未満児において発生し</p>

	<p>ている状況なので、保育園の定員増加や民間保育園の誘致などを進めておりますが、これからもやらなければならないことは多いと思います。</p>
後藤委員	<p>子育て世代の中でも共働きの世帯、特に働く女性の方を対象に、尾張旭市の駅周辺の住居は、名古屋市内のマンションと同じ利便性があり、緑が身近にあり、価格も安く、サービスも充実しているという、子育てをしながらも働き続けることができる環境について踏み込んだPRをしないと、新たな人口の定着にはつながらないかと思ひます。</p> <p>また、これからは、高齢者のみならず、男女を問わず単身者が増えてくるかと思ひますので、これらのかたにも駅前・駅周辺に居住してもらう取り組みを進めてはどうでしょうか。</p> <p>具体的に踏みこんだ議論していくのであれば、このようなことにも踏み込んでいく必要があるのではないのでしょうか。</p>
伊藤会長	<p>都市像、人口、土地利用構想について審議を進めていただきましたが、一部が積み残しとなりました、第2部の17ページ、第1部及び第3部については、事務局から意見をお聞きする形にしたいと思ひますので、意見を提出するためのシートを事務局で作成してください。</p>
企画課長	<p>8月中にご意見をお寄せいただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p>
伊藤会長	<p>続きまして、次第の3その他の次回開催日の確認をしたいと思ひます。事務局、説明をお願いします。</p>
企画課主査	<p>(次回日程の説明)</p>
伊藤会長	<p>次回の全体会は、10月4日金曜日、午後2時からとなります。</p> <p>事務局の方で、その他、何かございますか。</p>
企画部長	<p>特にございません。長時間に渡りご審議をいただきましてありがとうございます。次回以降もよろしくお願ひいたします。</p> <p>以上をもちまして、第2回全体会を終了いたします。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>